

(第2号様式)

沖 工 第 2599 号  
令和 5 年 3 月 24 日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立沖縄工業高等学校  
校長 大城 栄三  
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月22日(金)	場所		出席 状況	コロナ感染症流行に伴い書面開催
第2回	日時	令和4年12月23日(金) 16:10~17:00	場所	小会議室	出席 状況	学校職員7名、評議員5名
第3回	日時	令和5年3月23日(木) 16:10~17:00	場所	小会議室	出席 状況	学校職員7名、評議員5名

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校経営方針への助言
- ②生徒の活動状況への助言
- ③生徒指導への助言
- ④進路指導への助言
- ⑤コロナ対策(関連)への助言

3 学校評議員の意見

- ①学校行事等、コロナ対策し実施されている報告を受け、工夫しながら実施する姿勢が見られた。沖工祭も見学に来たが、一生懸命取り組んでおり、さらにできるものを目指して欲しい。部活動も頑張っている。
- ②出席状況・勤怠状況が悪いと評価は下がっていく。対応をお願いしたい。(中学の)出席状況が厳しい生徒も入学して来るので頑張って指導して欲しい。
- ③校則に関しては子ども達の意見も含めて職員で絶えず話し合いをしてほしい。業種によって髪型等の許容範囲もちがう。この身なり(髪型)が面接時にできるのか等で指導していくといい。
- ④今の時代は「多様性」等これまでの常識が変わっていく過渡期と思う。相手と対峙した時、「どう思われるのか」「自分らしさとは」を踏まえて対応して欲しい。
- ⑤「成功体験」をあげあわせてほしい。行事が三学期にもあると思うが卒業する三年生がエンジョイできるように取り組んで欲しい。
- ⑥コロナ禍で行動制限・学校運営が厳しいなかよく持ちこたえてくれたと思う。勤怠状況・学力等の懸念もあるが今後も頑張っていきたい。
- ⑦生徒の活躍をHPや報道等で情報発信を積極的にすすめて欲しい。OBも保護者も嬉しいし、生徒の励みにもなる。

4 学校運営に反映した事項

- ①勤怠状況等への助言  
コロナ感染症関連で出席状況が悪くなっているが学校行事等を工夫しながら生徒の学校生活の充実に力を入れた。
- ②校則見直しへの助言  
「生徒の多様性」等を踏まえつつ、実業高校として進路活動に見合った指導を行えるよう教職員での共通理解を深め、見直しをすすめた。
- ③進路指導の充実  
生徒の「成功体験」やキャリア教育を通して、進路指導が年次的・継続的に行えるよう体制を整えた。

5 課題その他

- ①コロナ禍で欠席することに慣れた学校生活(生徒の生活習慣等)を元に戻すこと。
- ②登下校における自転車通学者の安全とマナーの向上(改善)。
- ③学校生活・生徒の活躍等の積極的な情報発信。